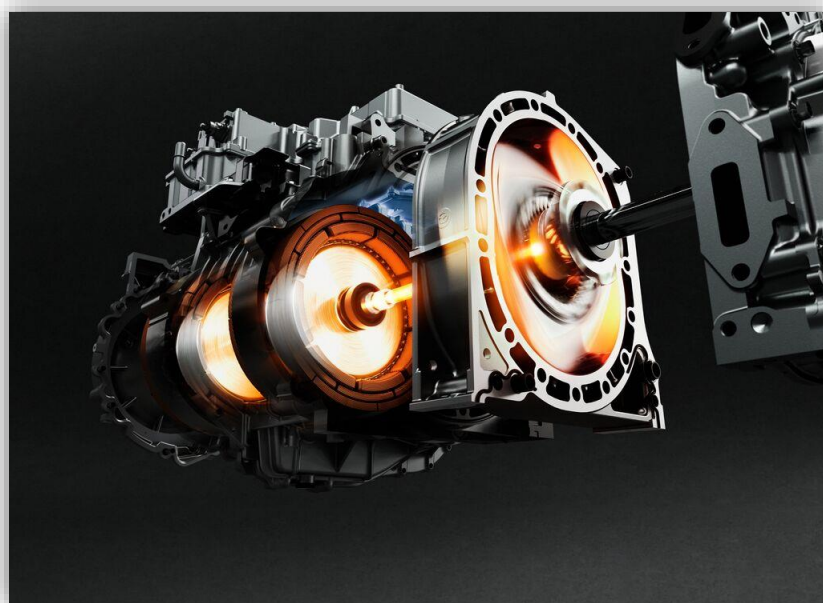




エコアクション 21

環境活動レポート



<期間：2023年4月～2024年3月>

発行 2024年 6月 23日

静岡マツダ株式会社

Shizuoka-Mazda Co.Ltd.



目次

1. 環境経営方針	2
2. 事業活動の概要	3
3. 実施体制	5
4. 2023 年度環境活動計画・目標	7
5. 環境活動の取組結果の評価	9
6. 環境への独自取組	12
7. 2024 年度の活動目標・活動計画	19
8. 環境関連法規への違反・訴訟の有無	20
9. 社内監査報告	21
10. 代表者による全体評価と見直し	22

1. 環境経営方針

静岡マツダ 株式会社

環 境 経 営 方 針

<基本理念>

静岡マツダ株式会社は、自動車販売・自動車整備などの全ての事業活動において、お客様、地域の皆様を念頭に自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献します。

<行動指針>

1. 環境に関する法規制を遵守します。
2. 限りある資源を大切にするため、省資源・省エネルギーに努めます。
化学物質使用量の適正管理と節水に努めます。
3. 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進します。
4. 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再利用活動を推進します。
5. 環境改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
6. 環境に配慮した商品・サービスの提供に努めます。
燃料消費効率の良い車種の販売、エコ整備・エコ車検・エコ点検等の推進
7. 環境保全のため、グリーン購入を推進します。
8. 全従業員にこの環境方針を周知徹底するとともに、環境活動レポートを作成し公表します。

制定日： 2008年9月1日

改定日： 2023年4月1日

静岡マツダ 株式会社

代表取締役社長 日置 輝明

2. 事業活動の概要

(1) 事業社名及び代表者

静岡マツダ株式会社

代表取締役社長 日置 輝明



浜松志都呂店

(2) 所在地

〒422-8004

静岡県静岡市駿河区国吉田1丁目20番28号

(3) 事業内容

- ・乗用車・商用車の新車販売
- ・中古自動車販売
- ・部品・用品などの販売
- ・自動車整備業（車検・点検・修理等）
- ・損害保険代理業
- ・電気の販売に関する業務

(4) 事業の規模

1) 店舗数 : 静岡県下全域 27 店舗

2) 対象店舗数 : 本社及び 27 店舗（次頁）

従業員数 544 人

売上高 20,621 百万円

(5) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者	管理本部 本部長	鈴木 正史
EA21 環境推進事務局	管理本部 管理部	中村 拓雄 藤谷 純平
		中村 一彦 松下 巧
	営業本部 サービス営業部	稲葉 啓朗

連絡先

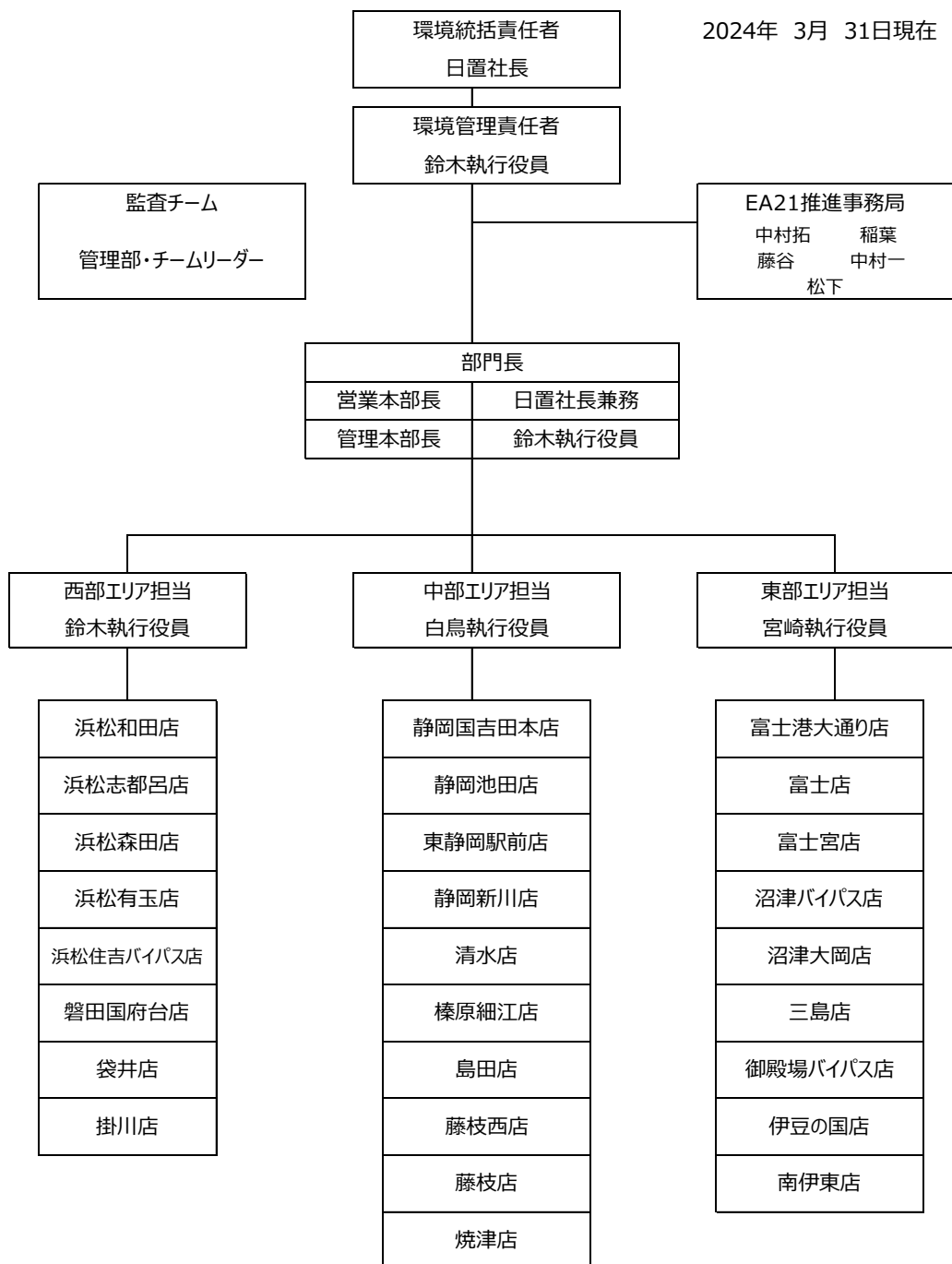
TEL : 054-261-1237

FAX : 054-261-9149

(6) 対象店舗

	店名	〒	住 所	電話番号
	本社	422-8004	静岡市駿河区国吉田 1 丁目 20-28	054-261-1237
1	静岡国吉田本店	422-8004	静岡市駿河区国吉田 1 丁目 20-28	054-261-1234
2	静岡池田店	422-8005	静岡市駿河区池田 157-1	054-262-1570
3	東静岡駅前店	420-0813	静岡市葵区東静岡 1 丁目 1-20	054-261-9131
4	静岡新川店	422-8064	静岡市駿河区新川 2 丁目 6-36	054-284-0777
5	清水店	424-0053	静岡市清水区渋川 146	054-348-1181
6	榛原細江店	421-0421	牧之原市細江 333	0548-22-1234
7	島田店	427-0053	島田市御飯屋町 8789-1	0547-37-6255
8	藤枝西店	426-0076	藤枝市内瀬戸 138-1	054-641-3766
9	藤枝店	426-0005	藤枝市水守 1 丁目 15-13	054-644-2261
10	焼津店	425-0041	焼津市石津 580-1	054-624-3138
11	浜松和田店	435-0016	浜松市中央区和田町 711	053-461-6161
12	浜松志都呂店	432-8069	浜松市中央区志都呂 2 丁目 11-8	053-445-4106
13	浜松森田店	432-8047	浜松市中央区神田町 383-1	053-441-5171
14	浜松有玉店	431-3122	浜松市中央区有玉南町 530	053-433-7775
15	浜松住吉バイパス店	433-8113	浜松市中央区小豆餅 3-19-8	053-436-7185
16	磐田国府台店	438-0077	磐田市国府台 68-7	0538-32-8181
17	袋井店	437-0064	袋井市川井 1123-5	0538-43-2256
18	掛川店	436-0048	掛川市細田 528-1	0537-22-7284
19	富士港大通り店	417-0048	富士市高島町 59	0545-52-6331
20	富士店	417-0035	富士市津田町 5	0545-52-1115
21	富士宮店	418-0014	富士宮市富士見ヶ丘 12	0544-23-2411
22	沼津バイパス店	410-0007	沼津市西沢田 475-1	055-925-2600
23	沼津大岡店	410-0022	沼津市大岡日吉町 1557	055-962-8181
24	三島店	411-0811	三島市青木 145-1	055-971-5370
25	御殿場バイパス店	412-0044	御殿場市杉名沢 348-1	0550-82-2552
26	伊豆の国店	410-2317	伊豆の国市守木 818	0558-76-3121
27	南伊東店	414-0035	伊東市南町 2-1-17	0557-37-8100

3. 実施体制



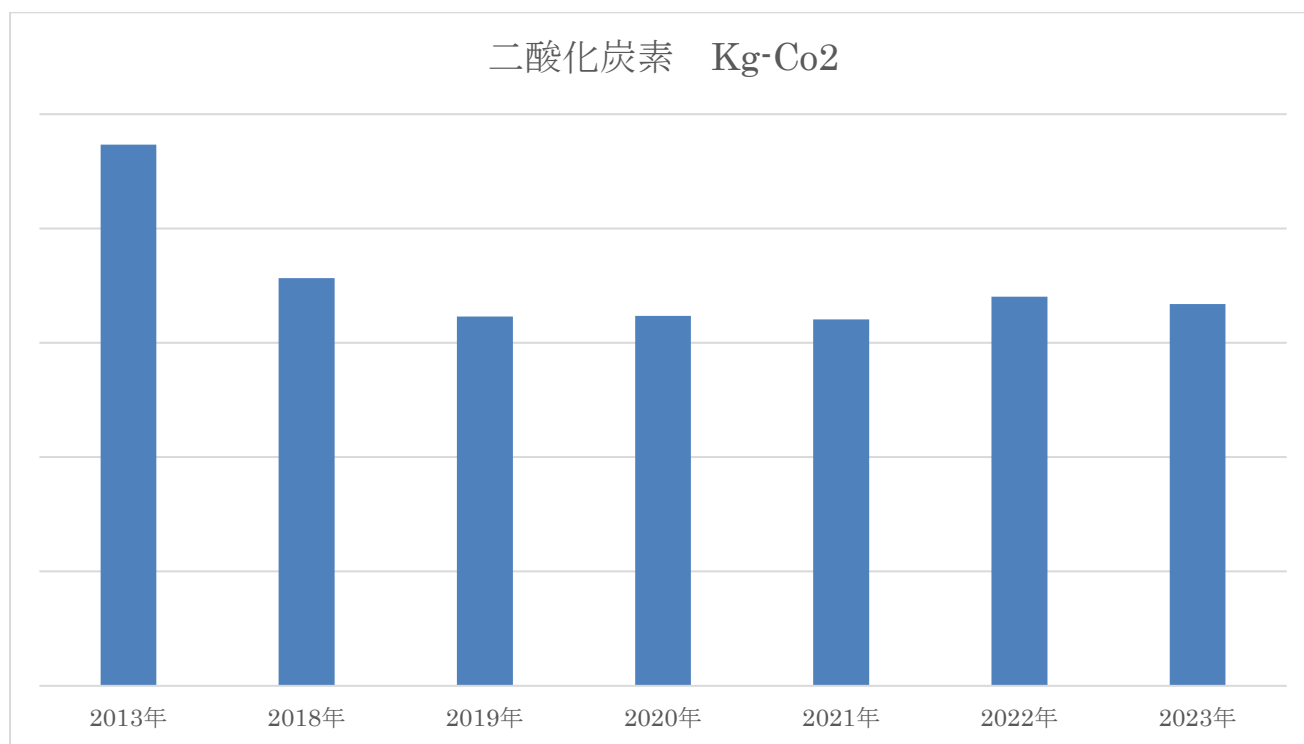
担当者	役割
環境統括責任者 ＜代表者・社長＞	・環境マネジメントシステム（以下 EMS）に関する統括責任者 ・EMS の実施及び運用に必要な人、設備、費用、時間を用意 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境レポートの承認 ・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者 ＜役員・管理部門長＞	・実務上の責任者として、環境取り組みを推進 ※代表者は、環境経営活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲 ・EMS の構築、実施、管理 ・環境活動計画書、環境法令とりまとめリスト等の承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境レポートの確認
エコアクション 21 推進事務局	・環境管理責任者をサポートしエコアクション 21 推進事務局として環境取り組みを推進 ・店舗の環境取り組みの指導、支援 ・環境データの集計、取りまとめ ・全社環境委員会の事務局
部門長	・全社環境委員会のメンバーとして、全社の環境取り組みを推進 ・担当部門の環境取組の責任者
監査チーム	・内部監査計画の策定 ・内部監査を計画に沿って実施 ・内部監査の結果に基づき改善項目の進捗状況を確認
各エリア担当	・担当エリア内の店舗の環境取組の管理
店舗環境管理責任者 ＜正：店長 副：サービスマネージャー＞	・店長：店舗の環境取り組み全体の責任者として、店舗環境取組の推進、管理 ・サービス Mgr：MECA21 を中心にサービス領域の環境取組に責任を持つとともに店舗全体の環境取組において店長をサポートする MECA21 ～Mazda'sEnvironmentCareApproach21～ マツダ㈱がエコアクション 21 認証にあたり、環境関連法令の遵守状況を自己診断する仕組み
全従業員	・環境経営方針の理解と環境取り組みの重要性の理解 ・環境活動、社会貢献活動への自主的、積極的な参加

4. 環境活動計画・目標

近年の実績推移

二酸化炭素	2013 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
kg-CO ₂	2,367,414	1,783,723	1,615,673	1,617,931	1,601,881	1,702,169	1,669,318

(注1) 事業年度は4月～3月です。(注2) 上記実績は本社及び全店舗合計です。



<2023 年度の取組>

1. マツダ「サステナブル“Zoom－Zoom”宣言 2030」の取り組みの考え方を踏まえ、より環境に負荷をかけない数値となるように修正し目標を設定しました。
2. 基本的取組は継続します。
3. 最新の環境性能を装備した車両や、環境に配慮した整備など、お客様へ有益な情報を提供することによって環境負荷の低減に努めます。

中期環境経営目標

二酸化炭素総排出量を 2050 年までに 2013 年比 80%以上削減することを視野に、2030 年まで 30%以上削減することを目指します。2019 年度を基準として毎年 3%削減すること为目标として算出。

項 目		2019年度(基準年)		2022年度		2023年度	
		実績	売上当り	目標	売上当り	目標	売上当り
二酸化炭素排出量	Kg-Co2	1,615,673	74.0	1,474,570	67.5	1,430,330	65.5
電力使用量	kwh	2,322,376	106.3	2,119,570	97.0	2,055,980	94.1
ガソリン使用量	L	140,895	6.5	128,590	5.9	124,730	5.7
軽油使用量	L	69,215	3.2	63,180	2.9	61,280	2.8
燃料合計	L	210,110	9.6	191,770	8.8	186,010	8.5
廃棄物排出量	t	501.1	0.02	470.0	0.02	460.0	0.02
水使用量	m3	19,949	0.9	18,210	0.8	17,660	0.8
i-ACTIVESENSE重要事項確認書の取得	%	100		100		100	

項 目		2024年度		2025年度		2030年度	
		目標	売上当り	目標	売上当り	目標	売上当り
二酸化炭素排出量	Kg-Co2	1,387,420	63.5	1,345,800	61.6	1,155,690	52.9
電力使用量	kwh	1,994,300	91.3	1,934,470	88.6	1,661,200	76.1
ガソリン使用量	L	120,990	5.5	117,360	5.4	100,780	4.6
軽油使用量	L	59,440	2.7	57,660	2.6	49,510	2.3
燃料合計	L	180,430	8.3	175,020	8.0	150,290	6.9
廃棄物排出量	t	450.0	0.02	440.0	0.02	390.0	0.02
水使用量	m3	17,130	0.8	16,620	0.8	14,270	0.7
i-ACTIVESENSE重要事項確認書の取得	%	100		100		100	

電力のCO₂調整後排出係数は、オリックス電力 0.485、中部電力 0.457、東京電力 0.468 (kg-co₂/kwh) を使用しております。
 化学物質の使用量は、少量のため目標は設定せず適正管理とします。

5. 環境活動の取組結果の評価

2023 年 4 月～2024 年 3 月の実績

項目	単位	2022 年度		2023 年度				
		実績	売上当り	目標	売上当り	実績	売上当り	評価
二酸化炭素排出量	Kg-Co2	1,702,169	81.8	1,430,330	65.5	1,669,318	81.0	×
電力使用量	kwh	2,230,362	107.2	2,055,980	94.1	2,212,288	107.3	△
ガソリン使用量	L	181,504	8.7	124,730	5.7	177,270	8.6	×
軽油使用量	L	73,458	3.5	61,280	2.8	67,498	3.3	×
燃料総使用量	L	254,962	12.3	186,010	8.5	244,768	11.9	×
廃棄物排出量	t	522.3	0.0	460.0	0.0	528.1	0.03	×
水使用量	m3	18,246	0.9	17,660	0.8	17,789	0.9	△
i-ACTIVENSENSE 重要事項確認書の取得	%	100		100		100		○

評価基準 ◎：-20%～ ○：-20%～0% △：0%～+10% ×：+10%～

■ 電力使用量の削減……部門長、店長

【具体的取組】

1) クールビズ実施 5/6～10/30

上記期間において 2023 年度もクールビズ期間として、ノーネクタイ、ノージャケットで勤務いたしました。
お客様から見て不快にならない清潔感のある服装を心がけました。

2) 空調管理（事務所：暖房 20 度、冷房 28 度 ショールーム：暖房 22 度、冷房 26 度）

事務所内は業務に支障をきたさないことを前提に温度設定しました。ショールームは、お客様が快適に
過ごせる温度に設定し、日中や夕方は、ブラインドやシーリングファンを適切に併用して節電に努めました。

【評価】

電力使用量 …… △ 対目標 7.6%未達、対前年 0.8%削減

目標は達成できなかった。対前年に対して削減ができた。クールビズや空調の管理は浸透できたが、コロナ
感染症の拡大防止のため、今まで以上の換気が必要となり冷暖房にかかる電力量の削減には至りません
でした。

■ 燃料の削減……部門長・店長

【具体的取組】

1) エコドライブ 10 のすすめに準じた運転を周知徹底。

ガソリン、軽油を合計した総燃料使用量を減少させるべく、従業員にエコドライブ 10 のすすめの意識付け
をしました。全従業員、特に社有車を運転する機会のあるスタッフには、安全運転の励行とあわせエコドライ
ブを心がけるよう周知徹底し続けています。

2) 業務車両、サービスカーの最新化

業務で使用する車両や、整備代車として使用する車両をマツダの環境技術、安全技術を採用した車両へ順次入れ替えます。

【評価】

燃料総使用量 …× 対目標 31.6%未達、 対前年 4%削減

燃料総使用量はガソリン、軽油ともに目標達成できなかった。新型車のデモカー配備による初期給油や業務カー代替えによる給油が大きな要因である。毎月の集計を行っているが、全社の状況の店舗への啓発などを行っていなかったため削減への意識を高く持てなかった。

■ 廃棄物の削減……部門長・サービス Mgr

【具体的取組】

1) 分別廃棄の徹底

廃棄物の分別廃棄を徹底しました。リサイクルできるものを適切に処理できるように、排出先や最終処分状況まで確認し廃棄物を減量していきます。静岡マツダとしての廃棄物減少だけでなく、限りある資源を大切にするという考えを持って、環境対策を行ないます。

2) 化学物質の適正管理

P R T R 制度対象物質使用状況の把握及び管理を継続しました。

【評価】

評価 廃棄物排出量 …× 対目標 14.8%未達、 対前年 1.1%増加

廃棄物の分別廃棄の徹底、排出先の適正化、リサイクルできるものはリサイクルルートへ排出。

化学物質について、環境配慮がされている製品への切替えをすすめて参ります。

■ 水使用量の削減……店長・サービス M g r

【具体的取組】

1) 節水の呼びかけ、設備の点検

洗車用ホースへストップノズルを取付ける。設備が正常に作動するように維持します。

【評価】

評価 水使用量 …△ 対目標 0.7%未達、 対前年 2.5%削減

洗車時などに使用する水栓にはストップノズルを取り付け、水の無駄使いを防止する行動は、全社で定着している。又節水型門型洗車機を東静岡駅前店・掛川店に導入、今後の節水効果が期待できる。但し節水の呼びかけについては課題が残る。

■ マツダの最新技術を採用した車種の販売……部門長・店長

【具体的取組】

1) 車両販売による環境負荷の低減

マツダの走る喜びと優れた環境性能を備えた新型車両の販売

2) 事故のないクルマ社会の実現

「MAZDA PROACTIVE SAFETY（マツダ・プロアクティブ・セーフティ）」の思想に基づく安全技術を搭載した新型車の販売。安全技術搭載車両については新車納車引渡時まで、重要事項確認書にて、ご説明させていただきます。

i-ACTIVESENSE 重要事項確認書の取得 2023 年度目標 対象者 100% 取得

【評価】

対象 4,975 台 100%重要事項説明書を取得・・・○

新車ご注文のタイミングまでに、重要事項確認書にて、マツダ先進安全技術をご説明させていただきました。説明状況を本部にて確認しました。「i-ACTIVESENSE」はマツダが目指す安全性能の考え方

「Mazda Proactive Safety（マツダ・プロアクティブ・セーフティ）」に基づき開発した先進安全技術の総称です。認知 支援を行いドライバーの安全運転をサポートするアクティブセーフティ技術に加え、事故が避けられない状況での衝突回避・被害軽減を図るプリクラッシュセーフティ技術で構成されています。新車ご注文のタイミングまでに重要事項確認書にて、100%ご説明させていただきました。

タブレット端末を使用した商品説明、見積、電子契約システムを導入し、重要事項確認書についてもタブレット端末上で説明をさせていただき、従来の紙ではなく Web でいつでも確認できるように順次変更させていただきます。今年度は 4,975 台中 2,921 台が電子契約へ切り替えました。

マツダの安全思想

MAZDA PROACTIVE SAFETY

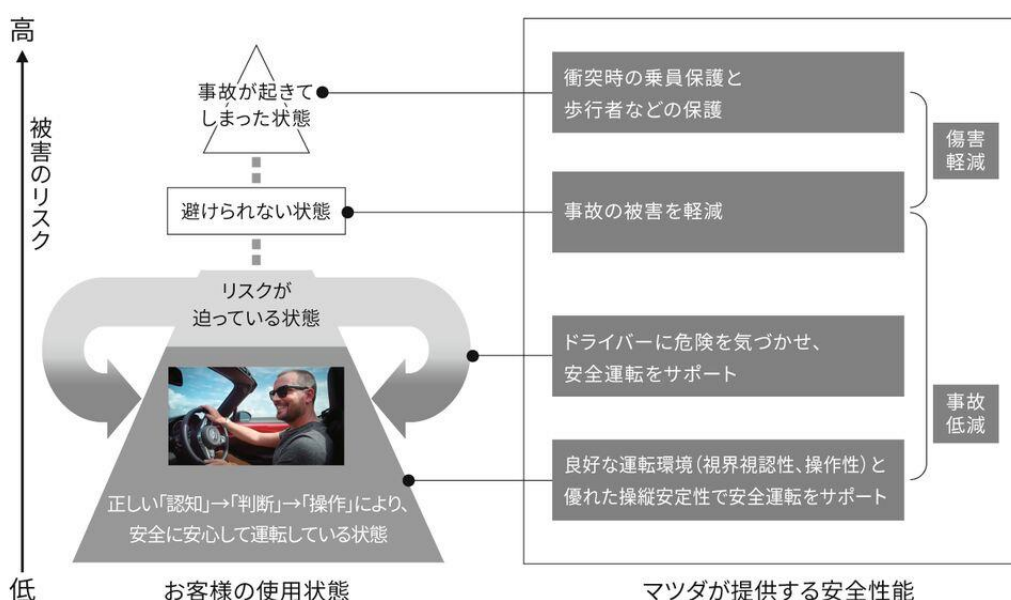


Photo: (P25)XD Grand Journey 4WD

6. 環境への独自取組

マツダの環境配慮型店舗 – 新世代店舗 –

マツダでは近年、新世代店舗と呼ぶ新しいコンセプトの店舗に改修、建替を進めています。

新世代店舗では、お客様にマツダブランド(商品・人)の本質を感じていただけるような設計をしています。その中でも太陽光発電などの環境に配慮した設備（LED 照明、エアコン範囲設定細分化、

シーリングファン、ブラインド、トップライト、節水型トイレなど）を整え、持続可能な社会形成に貢献します。



太陽光発電

単位 kwh	2023 年度	2022 年度	2021 年度	2020 年度	2019 年度
伊豆の国	18,647	23,729	28,772	28,641	28,433
静岡 BC	19,523	40,177	47,215	45,694	47,323
掛川	7,236	13,239	22,137	25,695	21,373
浜松和田	23,799	28,402	35,752	43,248	45,988
焼津	50,936	47,529	49,464	36,937	37,298
藤枝西	50,273	49,498	50,049	47,964	49,068
静岡池田	43,885	35,700	33,997	34,360	42,243

2023 年 4 月現在当社では上記 7 ヶ所で再生可能エネルギー設備を備えています。静岡池田店については自家消費、その他の店舗は全量売電

●太陽光発電の管理見直し

2023 年 6 月パネルの汚れ状況を調査

8～9 に全店舗のパネル清掃を実施

発電量が極端に減っていた掛川店の設備点検、修理を行った。

発電量を月々点検し、今後も専門業者による点検や清掃を計画的に行う。



社会貢献活動

■ マツダライトダウンキャンペーン参加

環境省主催でのライトダウンキャンペーンは 2019 年で活動終了しましたが、マツダグループでは、CO2 削減による地球温暖化防止の為に、取り組みを継続しております。

2023 年度もライトダウン取り組みに参加しました。

2023/6/21 夏至 7/7 セタにマツダグループ全体で屋外照明、メジャーサインの消灯を行いました。

■ エコキャップ回収運動

各店舗で集められたエコキャップを本部にてとりまとめ、収集したキャップをリサイクル業者へ持ち込み、その後リサイクル業者が NPO 法人エコキャップ推進協会に寄付しました。

2023 年度寄付実績 27,090 個

2017 年度からの継続取組 累計 86,129 個

■ 献血 2023/4/21, 11/2 の 2 回、静岡国吉田本店にて実施。献血者 23 名

■ 自動車整備専門学校にて研修授業を実施 2024/1/10

■ インターンシップ受入

2023/8、2023/10、2023/11 他 大学生・専門学校生、高校生を受け入れました。

■ 県内の学校へ車両寄贈

県内整備士養成学校・高等学校へ教材用の車両を寄贈しました。



■ 職場体験受入

2023/10、2023/11 他 中学生による職場体験（洗車補助作業）と工場見学を受け入れました。

■ くるまやさん見学受入

2023/9/1 こども園の遠足休憩場所提供と工場見学を受け入れました。

■ 紙製クリアファイル

2023/1 より脱プラスチックの一環として紙製クリアファイルを導入しました。
紙製クリアファイルは環境への負荷が小さく古紙としてリサイクルも可能です。



健康経営優良法人

社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人として、健康経営優良法人の認定を継続することが出来ました。

健康を意識した生活（働き方）、仕事とプライベートの両立が出来ているか、検証しながら、より良い業務生活を目指してまいります。



SDGs（持続可能な開発目標）宣言

SDGs 宣言書を申請し、静岡市より『SDGs 宣言証』が交付されました。

取組み目標は、「**全社員が SDGs について理解・共有する**」を重点目標としています。

静岡マツダ株式会社は、自動車販売・自動車整備などの全ての事業活動において、お客様、地域の皆様を念頭に自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献します。

2023 年の SDGs 宣言達成状況報告書を作成
1 年の活動を静岡市へ報告しました。

県内 3 か所での特設展示会にて「MX-30 SeDV」
の展示/乗り込み体験を行いました。

SeDV とは Self-empowerment Driving
Vehicle（セルフエンパワメントドライビングビークル）です。

MX-30 SeDV は、「わたらしく生きる。誰もが好きな時に好きなところへ。自分の意志で行動する、移動する、イキイキと人生を楽しむ」をコンセプトに開発した手動運転装置付車です。障がいをお持ちの方にもご自身で運転をし、走る喜びを体感していただくために、社内研修を実施しました。



静岡ツインメッセにて展示

■ パリンアートコンテスト協賛

8/23（水）タウ主催「第5回タウパリンアートコンテスト 2023」授賞式を開催しました。
受賞者の笑顔が心に残るとても良い授賞式となりました。



2024 年度も「第 6 回タウパリンアートコンテスト 2024」に協賛します。



- 河川環境アドプトプログラム活動 参加
11/20「興津川清掃活動」を実施



河川環境アドプトプログラム 活動報告

活動日	令和5年11月20日（月）	
団体名（区間）	静岡マツダ株式会社（16）	
参加人数	24名（うち子供2名）	
ごみ回収量	燃えるごみ	ごみ袋（中） 約 16 袋
	ビン・缶	ごみ袋（中） 約 4 袋
	大型ごみ 危険物の発見	・刺激臭の強い農薬入りのプラスチック びん1個（回収済み） ・石に絡みついた釣り糸付きのルアー
環境情報	・サーファーが第三日曜日に清掃活動をしているとのこと で当初ごみがいまい見当たらなかったが、始めてみると 大量のごみを回収できた。 ・寒い時期だが、かまきり虫がいた。	
活動写真	  	

ご報告ありがとうございました！！

7. 2024 年度の活動目標・活動計画

2024 年度の環境経営目標

項目	単位	2024 年度	
		目標	売上当り
二酸化炭素排出量	Kg-Co2	1,387,420	63.5
電力使用量	kwh	1,994,300	91.3
ガソリン使用量	L	120,990	5.5
軽油使用量	L	59,440	2.7
燃料総使用量	L	180,430	8.3
廃棄物排出量	t	450.0	0.02
水使用量	m3	17,130	0.8
i-ACTIVESENSE 重要事項確認書の取得	%	100	

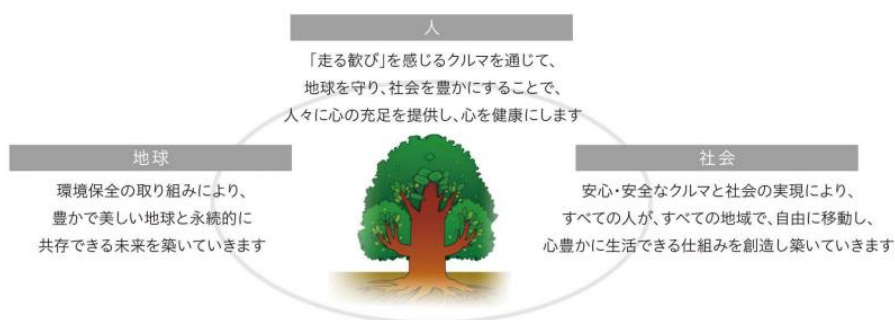
< 2024 年度の取組 >

マツダ「サステナブル “Zoom－Zoom” 宣言 2030」の取り組みの考え方を踏まえ、より環境に負荷をかけないように取り組みます。

基本的取組は継続します。

サステナブル“Zoom-Zoom”宣言2030

私たちマツダは、美しい地球と心豊かな人・社会の実現を使命と捉え、クルマの持つ価値により、人の心を元気にすることを追究し続けます。



8. 環境関連法規への違反・訴訟の有無

当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日 2024 年 4 月 1 日

評価者 環境管理責任者 鈴木正史

法令・条例			適用される要求事項	遵守結果
法令	大気汚染	自動車 NOX・PM 法	自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質等の排出量削減に努める	○
	水質汚濁	水質汚濁防止法	特定施設の届出（自動式車両洗浄施設）	○
		下水道法	特定施設の届出（自動式車両洗浄施設、洗車施設）	○
		浄化槽法	設置または変更時の届出	○
			保守点検、定期検査	○
	振動・騒音	振動規制法	規制基準の遵守	○
			特定施設の届出	○
		振動規制法	規制基準の遵守	○
			特定施設の届出	○
	化学物質 危険物	PRTR 法	指定化学物質の移動量把握・届出	該当なし
		消防法	危険物取扱者の設置保管量の遵守	○
		労働安全衛生法	化学物質の有害性等の調査及び健康障害防止措置	○
	廃棄物 リサイクル	資源有効利用促進法	再資源化製品のリサイクルへの協力（適正廃棄）	○
		廃棄物処理法	産業廃棄物の適正処理	○
			マニフェスト交付状況の報告	○
			特別管理産業廃棄物責任者届出	○
			収集・運搬・処理委託業者との契約締結	○
		自動車リサイクル法	使用済自動車の引渡義務	○
			使用済自動車の引き取り業者への引き渡し	○
		家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し、料金の支払	○
		地球環境保全	フロン排出抑制法	定期点検、管理
	フロン類回収業者へのフロン類の引渡義務			○
静岡県条例	静岡県生活環境の保全等に関する条例	振動・騒音基準の遵守	○	
		振動・騒音の届出	○	
	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の設置	○	
		委託先の実地確認と記録の保存	○	

関係機関からの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟は過去 3 年間ありません。

9. 社内監査

2023 年度 エコアクション 21 監査報告

エコアクション 21 事務局

2024 年 3 月 31 日

実施者：管理部

【実施概要】

エコアクション 21 に関する監査を 2024 年 3 月 4 日～2024 年 3 月 15 日に実施した。当社では店舗の内部統制のチェック、店舗監査を年間 5 回全店舗で行っているが、3 月はエコアクション 21 の取組について自己チェックと併せて実施している。

【確認結果】

店長、サービスマネージャー及びフロアアテンダントは概ね環境活動を理解し定着している。

- ・ 省エネルギー
照明設備の昼休み消灯や空調の最適化は概ねできている。夏季のクールビズは定着している。
- ・ 設備機器の適正管理
照明器具の定期清掃は不十分との回答が散見された。エアコンフィルターの定期的な清掃が不十分な店舗がある。エアコンの点検はフロン排出抑制法に則り 100%実施した。
- ・ 省資源
ペーパーレス化は、店長会議資料など本部から提供する資料を PDF 化している。ただし閲覧時に印刷することがあり店舗での紙使用の減少の歯止め要因となっている。
- ・ 水の効率的な活用及び日常的な節水
節水の意識は高く励行されているが、節水の呼びかけの表示をしていない店舗がある。節水型門型洗車機を新たに 2 店舗に追加導入し、今後の節水効果が期待される。
- ・ 大気汚染物質の排出抑制
マツダの環境技術を採用した車両は、排出ガスもクリーンであることや通常の点検・車検整備は、排出ガス抑制につながるものであるという意識をもう少し高める必要がある。
- ・ 廃棄物の排出抑制、適正管理
産業廃棄物の排出は適正に管理されている。
- ・ 排水処理
油水分離槽・浄化槽の点検清掃を実施。ゴミの分別や産業廃棄物置き場の掲示も適正である
- ・ 輸送に伴う負荷の低減
業務車両を使用し社用車の定期的な点検を実施。社用車への給油は満タンを禁止し 10L～20L の給油に留め、燃費向上につなげている。
- ・ 環境保全のための取組・体制の整備
環境保全活動の取組が店舗内で共有されるしくみが構築されておらず不十分である。
- ・ 環境教育、環境保全活動の推奨等
朝礼等で環境活動の情宣が不十分である。環境経営方針や EA21 登録証は適正に掲示されている。
- ・ 環境配慮型商品などの販売及び情報提供
販売商品自体がほぼ環境配慮型商品となっており、情報提供含め定着している。
- ・ 報告等
店舗は専用のファイルへエネルギー使用量を入力している。ほぼ定着しているが一部入力漏れがあり、フォローが必要。

10. 代表者による全体評価と見直し

1.見直し関連情報

項 目		確認	：（必要に応じて評価・コメント記載）
1	エコアクション 21 文書	☒	記録・文書として作成しました。
2	環境経営目標及び目標達成状況	☒	廃棄物を除き、各種排出量・使用量は前年を下回りましたが、すべての項目で目標を達成できませんでした。
3	環境経営計画及び取り組み実施状況	☒	継続して取り組みます。
4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒	記録に記載いたしました。
5	外部コミュニケーション・対応記録	☒	環境関連での外部指摘はなく、特に問題ありませんでした。
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒	太陽光発電量の減少と回復が課題です。受光部の清掃による効果は限定的なため新たな改善手順を目指します。
7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☒	必要に応じて社外と連携し活動を進化させて参ります。
8	その他（ ）	☐	

2.代表者による全体評価

燃料使用量について、社内への案内、啓発を行い対前年より若干の減少という結果でした。今年度は本部からの発信の頻度を上げて効果的に行い、スタッフ 1 人ひとりの意識を高めさらなる削減を行って欲しい。太陽光発電量について、設備の経年劣化などによるトラブルが発生している。トラブルに早く対応するように月々の実績とトラブルについての対応を毎月報告するようにしてください。

地域への環境保全の責任と役割を果たすため清掃活動などへの積極的な参加、持続可能な社会のために次の世代へ伝える、経験の場を提供する活動を続けていきます。

2024 年 6 月 23 日
静岡マツダ 株式会社
代表取締役社長 日置 輝明

3.代表者による見直し指示

見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	無	
2	環境経営目標	無	
3	環境経営計画	無	
4	環境に関する組織 (実施体制含め)	有	太陽光発電について月次単位で報告をすること。
5	その他のシステム要素	無	
6	その他 (外部への対応)	無	